

地域の元気推進

大坪地区「まちづくり」計画書

私たちは、涓水の流れと緑豊かな自然に育まれ、歴史と文化に恵まれた、大坪地区住民であることに誇りを持ち、みんなで力を合わせ、安全で明るく、活気ある、住んでよかった、「夢」がもてる町づくりを始めます。



大坪地区「まちづくり」運営協議会

はじめに

社会経済は未だ厳しい不況にあり、政府は行財政改革、年金問題等、また、地方分権の時代と言って、三位一体改革として補助金、交付金などがカットされています。

伊万里市も例外ではなく、自治体は厳しい財政事情に強いられ、先行き不透明さが払いきれない状況にあることは否めないところであります。

このような状況の中、「市民が主役の町づくり条例」が制定され、自分の住む「まち」を住みたい「まち」へ変革させ、住んでよかった、「まち」創りを行わなければならないのです。

今後の「まちづくり」において、全てを行政に頼ることなく、地域の問題（課題）は地域の人達で「お互いを支え合い、助け合」って行かなければならないのです。

然し、現代社会の社会的要因として、地域社会における住民意識や行動に地域社会活動への関心の低下、関係性の希薄化、相互支援の弱体化が見られます。

少子高齢化、核家族化等、大坪地区で現在起こっている諸問題を、地域単位、各種団体単位で解決するのが困難な今、地域住民の一人ひとりがお互いに助け合い、心豊かに安全で、住んでよかった「まちづくり」をするために、「大坪地区まちづくり運営協議会」を設立し、地域の諸問題の解決を図り、伊万里市で一番の「活気」ある「まちづくり」を行っていくつもりですので皆様のご協力をお願い致します。

本書は、共助の精神により、地域で支えあい、大坪地区の今後のあるべき姿を進めるための計画書です。

計画書策定にあたっては、区長会、運営協議会委員、運営協議会プロジェクト、各種団体代表、伊万里市支援職員等の方々にお集まりいただき協議・検討し進めてきましたご参加いただいた皆様には大変ご苦勞をおかけいたしました。

今後、この計画書に基づいて、みんなで力を合わせ、自分たちの住む町を、安全で明るく、活気ある、住んでよかった、「夢」がもてる町づくり事業を始めますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

大坪地区まちづくり運営協議会
会長 酒谷 正憲

1：大坪地区元気推進プラン「ビジョン」策定にあたって

1-1：町づくりには「ビジョン」が必要です

ビジョンとは「将来あるべき姿」「理想とする未来の状況」のことです。単なる目先の目標、目的のことではありません。

中、長期的な視点に立ち、これから向かうべき方向を明確にするものであり、今は漠然としていても、様々な努力をすることにより、いつかは必ず達成できる理想の姿、理想、状況のことです。

大坪地区には沢山の意見、考え、価値観があります。なぜなら大坪地区には沢山の方々が生活をし、様々な年齢、職業、趣味、家庭を持った方が、皆それぞれに、多種多様な生活をしているのですから、人それぞれに、他人と違った意見、考え、価値観が生まれるのは当然なことだと思います。

然し、バラバラな意見や考えかたのまま、様々な価値観に合わせて、場当たりの町づくりをするのでは、明確な大坪地区の方向性を決める事は出来ません。

よりよい町づくりをするためには、沢山ある様々な意見、考え、価値観をひとつに束ね、大きな柱、大きなエネルギーに変えて行く必要があります。

様々な意見、考え、価値観をひとつに束ね、明確な町づくりの方向性を決めるものが、大坪町「まちづくり」のビジョンです。

1-2：大坪地区の「ビジョン」を考える上で

大坪地区の中・長期ビジョンを考える上で、最も重要なことは、市内他地区にはない、優れた個性、特徴、独自性を、揺るぎない核として

- ① 「どうすれば区民のメリットになるのか」
- ② 「どうすれば長期的な継続性が可能なのか」

上記2項目を考慮しながら「町づくり」ビジョンの構築を考えました。

1-3：大坪地区の「町づくり」核の策定について

多様な住民の思いをバラバラに論議するのではなく、町づくりの基本原則を定めて、それに基づいた、「町づくりにおける6つの核」を作成し実行致します。

「町づくりにおける6つの核」

- ① 恵まれた自然を守り、私達が永住する町づくり
- ② すべての地域住民の「絆を」大切にしたい町づくり
- ③ 子ども、高齢者、障害者、全ての住民が安全で安心して暮らせる町づくり
- ④ スポーツを楽しみ、住民の健康を守る町づくり
- ⑤ 伝統を大切に、文化を育む町づくり
- ⑥ 充実した、支援事業を行う町づくり

1-4：ビジョン（計画）の位置づけ

この計画書は、住民が主人公の行政運営（協働のまちづくり）で、よりよい生活をつくっていかこうとする「暮らしづくり」そのものが「まちづくり」です。

この計画書は、行政に100%頼ることなく、行政で行う部分と住民が行う部分の仕分けを行い、住民と行政の新たな関係のもと、住民が主役となる大坪地区の「まちづくり」のおおきな方向性を示すものです。

住民アンケートの結果やまちづくり運営協議会などによる討議・結果を踏まえて「大坪地区町民憲章」に基づく基本計画を策定しています。

目標年次を平成32年(2020年)として、それまでに取り組む具体的な事業計画を表すものです。

計画期間内の取り組みについては、短期、中期、長期計画とし、効率的な事業推進を図ります。

1-5：地域の現状と課題への取り組み

大坪地区全所帯へのアンケート

大坪地区の現状と課題を把握するために、平成21年12月から平成22年1月にかけて全世帯を対象にアンケート調査を行いました。

又、大坪小学校育友会にお願いし、子供たちの将来に対してのアンケートも実施いたしました。

アンケート内容につきましては

- ① 地域振興に関して
- ② 体育推進に関して
- ③ 青少年育成に関して
- ④ 健康・福祉に関して
- ⑤ 文化・情報に関して
- ⑥ 安全環境に関して

2：大坪地区の現状と課題

2-1：位置と環境

大坪地区は、伊万里市のほぼ中央に位置し北側の城古岳、東側の今岳、南西側の腰岳からのびた丘陵部と白野川、伊万里川、新田川に沿う地域からなり、現在14行政区から構成されています。

「伊万里（^{いまり}今里）」とは、今岳に近い「^り里（村のこと）」と思われ、大坪は条里制に關係する地名だといわれています。

現在国道202号線、498号線の交通の要とし伊万里市の東の玄関口とし、新興団地などの造成が行われ、行政・文化の中心部として発展しています。

2-2：人口の推移

大坪地区は、人口7,658人、世帯数2,918で、65歳以上の人口は1,599人で高齢者の割合は20,9%、市の高齢者人口は14,456名（市高齢化率,24,8%）で、市平均より下回っているが着実に高齢化は進んでいる。

また、一人暮らしの高齢者世帯は6,0%、市平均6,3%とほぼ同率である。

一方、地区の人口は団地造成のおかげで、他地区と比べ平成17年時と比べると461名増加している。

2-3：アンケート調査結果

大坪地区の現状と課題を把握するために、平成21年12月から平成22年1月にかけて全世帯を対象にアンケートを行った。

2,578世帯のうち763世帯（回収率30%）から回答をいただきました。

大坪地区「地域の元気づくり」アンケート

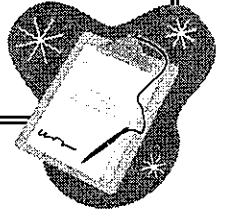
大坪地区では、明るく活気ある住みやすい地区にするために、今年度から「地域の元気推進事業」に取り組むことになりました。

この事業は、大坪地区の住民による「大坪地区まちづくり運営協議会（仮称）」を設立し、地域住民一人ひとりが協力し合いながら、まちづくりを行っていくものです。

住民皆様の意見を反映させた計画を策定するために、このアンケートにご協力ください。

※1月6日（水）までに班長さんを通して、区長さんにご提出ください。

- ・プライバシーが気になる方は封筒などに入れて提出してください。
- ・このアンケートは「地域の元気推進事業」だけに使用し、他のことには一切使用いたしません。



1. 大坪地区は住みやすいですか？

*該当する番号を○で囲み、できるだけ理由をお聞かせください。

1. 住みやすい ()
2. まあまあ住みやすい ()
3. あまり住みやすくない ()
4. 住みにくい ()

2. 大坪地区の良いところ、良くないところをお書きください。

良いところ []

良くないところ []

3. 現在困っていること、将来心配なことがありますか？

*該当する番号を○で囲んでください。（複数回答可）

1. 老後の生活
2. 健康問題
3. 身内の介護
4. 人間関係
5. 子育て
6. 空き巣・窃盗などの防犯対策
7. 風水害などの防災対策
8. 交通対策
9. ゴミ等の環境問題
10. その他 ()

4. 大坪地区がもっと住みやすくなるためには何が必要だと思いますか？

*該当する番号を○で囲み、その具体的内容をお書きください。（複数回答可）

1. 防犯・防災対策
2. 環境対策
3. 食育の推進
4. 一人暮らしの高齢者への対策など、福祉問題への取り組み
5. 子育て支援や青少年健全育成への取り組み
6. 町民の健康・体力づくり
7. あいさつ運動など、人と人との交流
8. 伝統文化の継承
9. 公共施設の充実
10. その他 ()

*具体的内容（例：2について…ポイ捨て禁止看板の設置。）

[]

裏面もご記入ください。



5. 大坪地区で自慢できるものは何ですか？

*該当する番号を○で囲んでください。(複数解答可)

1. 人情味がある
2. 自然環境に恵まれている
3. 交通の便が良い
4. 買い物に便利である
5. 自然災害の心配が少ない
6. 公共施設が近い
7. 地域に活気がある
8. 歴史・文化がある
9. 人材が豊富である
10. 自慢できる祭り・行事がある
11. 地域を大切にし、マナーが良い
12. 子育てがしやすい
13. その他 ()
14. 自慢できるところは特にない

6. 町・区の行事・祭りについてお尋ねします。 *該当する番号を○で囲んでください。

1. 積極的に参加している
2. 時間が取れば参加している
3. お付き合いで参加している
4. ほとんど参加していない
5. その他 ()

*参加されない理由をお聞かせください

[]



7. 大坪地区が「地域の元気推進事業」に取り組むことをご存知ですか？

*該当する番号を○で囲んでください。

1. よく知っている
2. 知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

8. 地域のためにできること(活動)があれば参加しますか？

*該当する番号を○で囲んでください。

1. 積極的に参加する
2. 自分や家族に直接関係することであれば参加する
3. あまり参加したくないが、区役(順番)なら参加する
4. 参加しない
5. その他 ()

9. 大坪地区について感じていること等があればお書きください。

[]

● ご回答いただいたあなた自身についてお尋ねします。*該当する番号を○で囲んでください。

性別： 1. 男 2. 女

年代： 1. 30歳未満 2. 30代 3. 40代 4. 50代

5. 60代 6. 70歳以上

行政区： 1. 上古賀 2. 下古賀 3. みどりが丘 4. 六仙寺 5. 祇園町

6. 柳井町 7. 白野 8. あさひが丘 9. 永山 10. 屋敷野

11. 東円蔵寺 12. 西円蔵寺 13. 栄町 14. つつじヶ丘



ご協力ありがとうございました。

大坪地区まちづくり運営協議会設立準備委員会

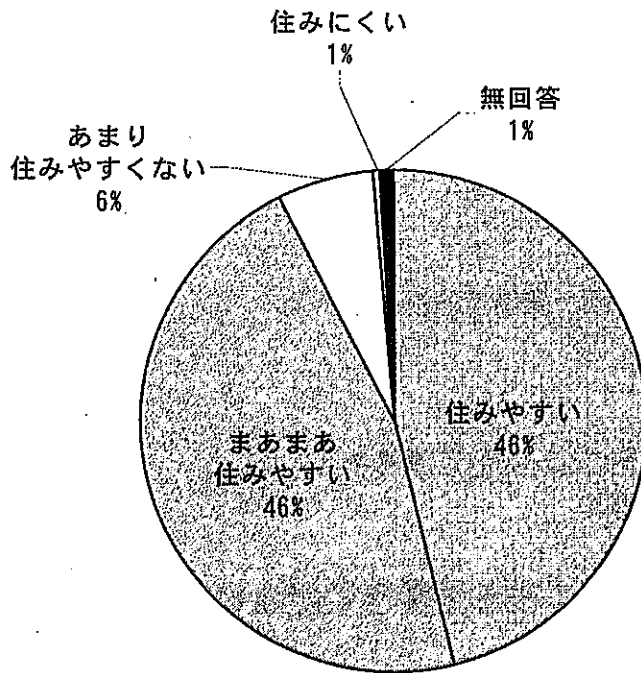
大坪地区『地域の元気づくり』アンケート集計表

配布：全世帯（2578世帯）
 回収：763世帯
 回収率：30%

1. 大坪地区は住みやすいですか？

*該当する番号を1つ選び、できるだけ理由をお聞かせください。

項目	人数	%
住みやすい	352 人	46 %
まあまあ住みやすい	354 人	46 %
あまり住みやすくない	46 人	6 %
住みにくい	5 人	1 %
無回答	6 人	1 %



『住みやすい』、『まあまあ住みやすい』を合わせて92%の人が大坪地区は住みやすいと回答している。

【理由】

《住みやすい》

- 生まれ育った地、仕事をした地、知人が多い
- 中心街に近い。
- 交通に便利が良い。
- いまりんバスが通っているので便利。
- 自然環境に恵まれている。
- 区民が仲が良い

- 隣人愛がある
- 病院、買い物に便利で周りの環境もよい。
- 買い物、銀行、交通、公共機関が近い

《まあまあ住みやすい》

- 地域の交流がある
- 人情がある。
- 歩いて買い物ができ、病院にもいけるから、できれば町の中に住みたい。バスの回数も少ない。100円バスなどもっと利用できるよう広げてほしい。
- コンビニ、商業施設が少ない。
- 地元意識が強く、納得いかないことがある。
- もう少し1人1人が協力し合うようになるとよい。
- 道路の防犯灯の明るさ、設置の数
- 近くに公的施設があり便利である。
- 周りに気を使わなくて良い
- ほとんど事件、問題が少ない
- 大人も子どもたちもマナーがよくない
- リサイクルセンターはありがたいが他の地区より行事が多すぎる。

《あまり住みやすくない》

- 道、家畜のフンの臭い、ごみ焼却の臭い等
- 「」アパート住民の車2台、1年中置く人あり。何とか注意（移動）していただくことは出来ないでしょうか。本人とは話し合いましたが、家主さんに言ってほしい。別に確保できないでしょうか。言って下さい。
- いまりんバスが通らない。交通の便が悪い。
- 人間味がない。
- 工場の臭いが臭くて窓を開けられない。
- 隣人関係（挨拶しても返ってこない）
- 子どもの遊び場がないお年寄りが語り合う場所、散歩するところがない

《住みにくい》

- 牛フンの臭い。国道の騒音。
- 最近の発達した道路事情に適應した道路状況にない。特に円蔵寺
- 児童公園が老人の占領されてとても困っている

2. 大坪地区の良いところ、良くないところをお書きください。

《良いところ》

- ・ 地域交流、活性化等
- 地域の交流がある
- 普段接する機会がないので、祭りや女性の組寄りがあるところだと思います。
- 町民のソフト、バレー
- 新旧の住民が刺激しあえること。
- 地域行事に協力的な人が多い。
- 昔からの古い伝統行事等があり、人間関係が良い。
- 初めて参加した運動会（おとどし）は地域の和を感じた。
- 公民館を中心に行き届いた行政がなされていると思う。

- 公共機関、施設に近いので便利、マンスリーおおつぼ等で地区の情報がわかりやすい
- スポーツ等住民参加の事業が多い
- 区長はじめ、民生委員さんたちの気配り心配りで助けていただいているところ
- 区長会はじめ各種団体の連携などよくできており、地域の安全など又地域住民の融和なども良い
- 人の交流などいいと思う。グランドゴルフ、老人会等

・交通対策

- いまりんバスのバス停があるので車がなくても出かけられる。
- いまりんバスが利用でき、公民館活動がよい。

・環境

- 自然が多い。ダム公園をよく利用しています。
- 近くに伊万里川、樹木のある遊歩道があり、ウォーキングも出来る。

・防犯・防災

- 町の安全は人のつながりによって保たれる。そのつながりが残っている。
- 自然災害がなく犯罪も少ないほうだと思います。
- 人々が温かい。朝の交通対策は子どもを守るため、大変評価できる。いつもありがとうございます。
- 子どもが下校する時など老人会の人たちがパトロールして地域住民の協力が素敵だと思った

・福祉

- まだ老人の付き合いが残っていてボランティアも充実している
- ボランティア精神が豊富な人が多い。

・子育て、青少年育成

- 子育て環境が良いところ（人的な）…保育園など
- 青少年育成に対して取り組んでいる

《良くないところ》

・地域交流、活性化等

- 区役など日曜日にあり、仕事上出れないが出不足金を支払うのは納得できない時もあり
- 「大坪町のはずれに住んでいる人々」とけなしたり、レベルの低いところで心無い発言を耳にすることがある。
- 集団に対しての協力心が薄く、個人の事ばかりに気を使い、行動に協力する心が足りない。
- 伝統行事などへの参加に若者が少ないこと。
- 少しは排他的な部分もあると…
- 川内野地区・波多津地区に比べるとやや町おこしがスローペースで進行しているのかなと感じます。
- 積極的に近隣と交流をする意欲が乏しいような気がする。

・交通対策

- 交通の便が良くない。今はいいが、老後の足となる車がいつまで運転できるか。
- 交通の便が悪い。車がないとどこにも行けない。夜などよく燃やしているのでダイオキシンが心配。
- 渋滞（ローソンの前交差点が信号がないため、出にくい）狭い道（橋）がある。
- 交通不便。買い物は来るまでないとできない。子どもの過ごす場所、教育施設の不足（図書館は立派ですが）
- 車社会の中、まだまだ道が狭かったり、見通しの悪いところが多い気がする。
- 急ぎのときなど離合する場所はないし、家まで救急車も入ってこれなかった。小学生がいるけど4年生は1人です。

- 交通の便ですが、車の運転をしないので町に出るのにバスの便が少なく、いまりんバスを永山地区まで通してほしい。
- 交通の便が良い面、交通事故（接触事故等）が多い。
- 私たちのところは道路が狭く、消防車、救急車も通らぬ道路で火災や老人の緊急の場合が心配です。
- 大坪小の裏に通る道ができると交通量が増えて小学生が危ないと思います。街灯が少なく暗い。

・環境

- 道、家畜のフンの臭い、ごみ焼却の臭い等
- 悪臭がする。水道水が濁ってる。
- 川の歩くとところが草が伸びていて、もっときれいにすればいいかな。
- 他地区にない、回収業者がありますが、早めに処分してほしい。
- 会社などが多く、工事などの音がうるさい。明太子工場の臭い。
- 他の地区からゴミ袋を持って来て困る。分別ができていない。
- ポイ捨てがまだ多く見られます。
- 犬の散歩で家の庭や畑にフンをさせていく。ビニールの袋は持っているが。
- 私の住んでいるところではごみ出し等自分が出したら後は知らんぷり
- ごみ出しなど決められたことが守れない（名前の記入がない。前の日に出す。水を良く切らずに出す）
- 草刈りが大変です。
- ごみ出し場所が悪い。

・防犯・防災

- 小学校の通学路が人通りが少ないこと。不安。
- 夜間街灯が少なく暗い箇所、防犯の面で心配
- 窃盗が多い
- 古賀の今岳河川工事を是非実行してください。昭和42年の水害から工事ができていない。水害の時は道路まであがり通行止めになる。視は住民のことを考えてください。大坪バイパスが出来上がればもっと災害が拡大する。是非お願いしたい。改修工事。
- 最近新聞の三面記事に、在住の氏名が載ってること。居住制限はできないが…。

・福祉

- 障害者に対する積極的に働きかけようとする姿勢がない。閉鎖的。大坪に限らず。交通の便が悪い。公共の交通機関 バスが列車
- 熟年地区で若い人が少ない。

・施設等

- 大坪小学校が古い。汚い。衛生面でよくない。
- 公民館の運動場設備
- 病院が遠い。
- 公共施設。特に小学校は古いというだけでなく、清潔感がない。未来を期待できるような分化的施設、行事もない。
- いろいろな設備、施設が充実していない
- 資源を有効活用されていない（国道開発地区、都川内ダム）

・職場

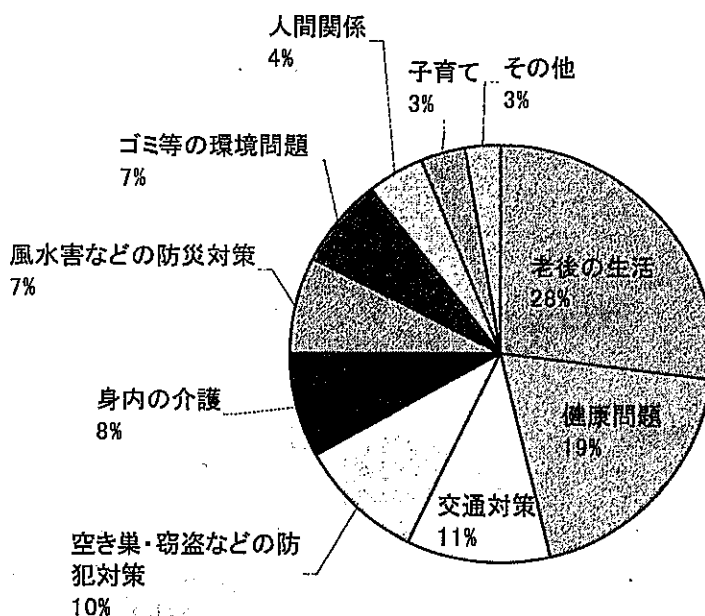
- 若者の働く職場があまりにも少ない。もっと職場の獲得を。

・子育て、青少年育成

- 子どもたちを遊ばせる公園などがない
- 子どもを育てていく上でお年寄りが冷たいので悲しい。
- あいさつをしない子が多い。

3. 現在困っていること、将来心配なことがありますか？（複数回答可）

項目	人数	%
老後の生活	301 人	28 %
健康問題	212 人	19 %
交通対策	125 人	11 %
空き巣・窃盗などの防犯対策	109 人	10 %
身内の介護	91 人	8 %
風水害などの防災対策	82 人	7 %
ゴミ等の環境問題	79 人	7 %
人間関係	50 人	4 %
子育て	36 人	3 %
その他	32 人	3 %

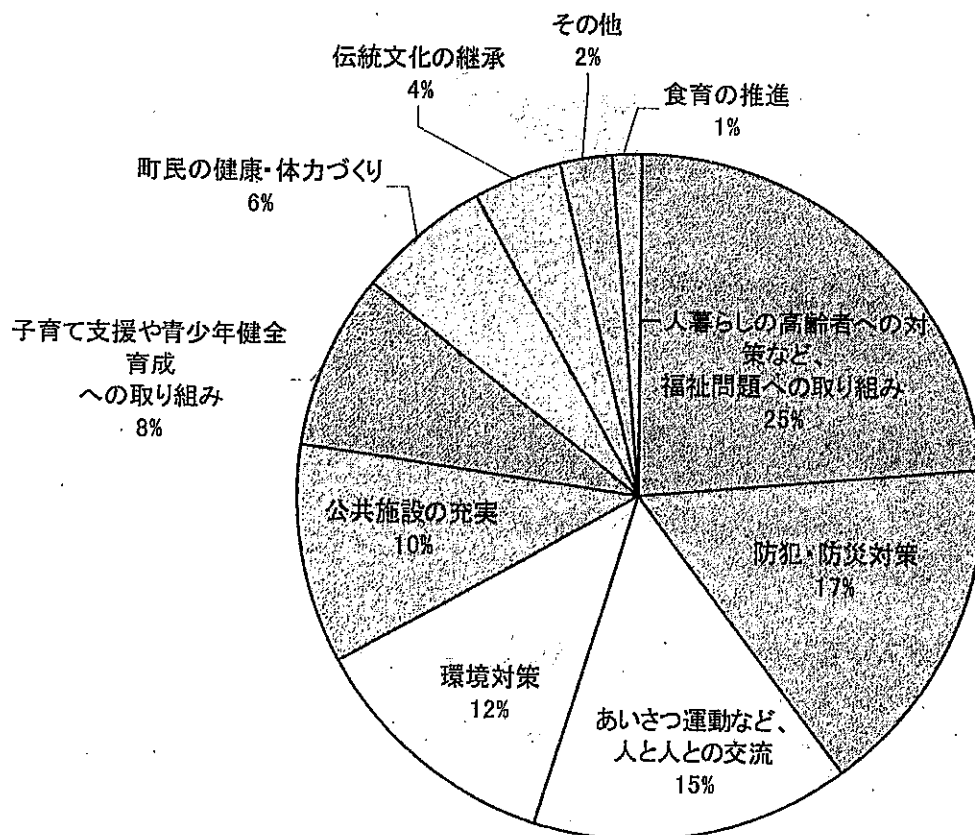


【その他の意見】

- 近所も高齢者や病弱者が多いのに行事が多すぎる。日曜日は安息日としてゆっくりしたいと思う人もあるだろうに様々のイベントなどがあってわずらわしい。
- 道路の一部の水溜り：雨天時（上田歯科の前など）
- 街灯が少なくて夜歩くのが怖い。
- 企業公害
- 来年から小学校へ入学する孫の通学路は人通りが少なく一人で帰るのが心配である。
- 近くに空家がありそのままにしてある。
- 独居老人で息子の家族は首都圏でいざという時は民生委員様、ご近所の方々にご迷惑をおかけするのでは…とやはり心配です。
- 区にボランティアの人がいてほしいこと。電気器具の取替えや粗大ごみの手伝いなど
- 子どもがずっと大坪に住んでくれるかどうか
- 16組の江口ですが、アメのひどい時家の前がはききれなくて水がたまる（栄町）

4. 大坪地区がもっと住みやすくなるためには何が必要だと思いますか？
(複数回答可)

項目	人数	%
一人暮らしの高齢者への対策 など、福祉問題への取り組み	282 人	25 %
防犯・防災対策	194 人	17 %
あいさつ運動など、人と人との交流	179 人	15 %
環境対策	145 人	12 %
公共施設の充実	123 人	10 %
子育て支援や青少年健全育成への 取り組み	99 人	8 %
町民の健康・体力づくり	76 人	6 %
伝統文化の継承	52 人	4 %
その他	29 人	2 %
食育の推進	17 人	1 %



【具体的内容】

・地域交流、活性化等

- 伝統文化の継承については、皆が継承していくための方策についての話し合いなど機会を作って重ねて話し合いをするなどしたほうが良いと思います。
- 高齢者と子どもが一緒になって遊び学べる場所づくり
- 近隣の付き合いが少ないことから老人が増える中人の交流が大切と思う。
- 休日に誰もが参加できるようにラジオ体操などをしたら良いと思う。(夏休み以外にも公民館からラジオ体操を流すなど)
- 大坪町の歴史の資料ができればいいですね。
- 町民がみんなで盛り上がるイベントを増やしてほしい。たとえば町での夏祭りなど他櫛屋でのイベントなど企画してほしい。
- 町民運動会は毎年あった方がよい。交流も含めて。
- 大坪公民館の調理室は、清潔感がなく建て替えてほしい。そしてもっと多くの人たちが利用できやすく高齢者も使いやすくしてほしい。高齢者の憩いの場となるような場所を各地に作ってほしい。
- 中学校から子どもの小学校入学までの間、地域貢献する場が少ない。最近流行の婚活みたいな出会いの場を作る必要もあるのでは？
- 円蔵寺公園をもっといろいろなことに活用できないかと思います。グランドゴルフだけでなく。

・交通対策

- 上伊万里から多久線の上り方面の渋滞をどうにかしてほしい。古賀のローソン出入り口に信号をつけてほしい。
- 道路の早急整備(主に通学路)
- 道路補修等危険、緊急時の道路整備等予算の都合もあるが対応が遅い。
- 市内循環バスが回ってほしい。

・環境

少し人目のつかない山間の道路になると、ペットボトル、ビニール袋に入ったごみなど目にする場所があります。場合によってはマットレス等の粗大ごみ等もあります。禁止看板の設置などなにかよい方法がないかと思います。

- ポイ捨てが多いため、看板の設置。

個人的な問題ですが、一年中糞尿の臭いで困っています。洗濯物にも臭いが付いて再度洗いなおしており、水道代や洗剤など大変手間もかかり、これさえなければと思っています。EM菌の利用をしているとは聞いたが回数を増やしてほしい。

- 粗大ごみ廃棄禁止看板の設置
- 公民館活動の一環としてつきに1回ほど大人から子どもまでごみ拾いを行い「ごみ一つない町づくり宣言」を目指す。人の交流もあり、一石二鳥。いつどなたがお見えになってもきれいな町ですね。と言っていただけのような大坪・伊万里。伊万里のシンガポール。

・防犯・防災

- 大雨時に三光印刷前の川の水があふれ出ないか心配。防災対策をとってほしい。
- 駐在所の機能充実。ハザードマップの周知。団地住民(アパートを含む)の地域活動への参加要請。
- 昨年7月25日の大雨で川が氾濫し、あわや床下浸水状態だった。大雨が降るたび繰り返されるがいっこうに改善されない。
- 街灯の設置(暗闇や死角を作らない)公園など小さな子どもが安全に遊べる場所づくり(車がこないところがいい)+駐車場有り
- 防犯パトロールの強化。
- 地区、行政区ごとに防災訓練や災害時の避難所・避難経路の通達が必要だと思う。(定期的に)

・福祉

- 一人暮らしの高齢者が安心して自立した生活を送れるよう福祉の充実。

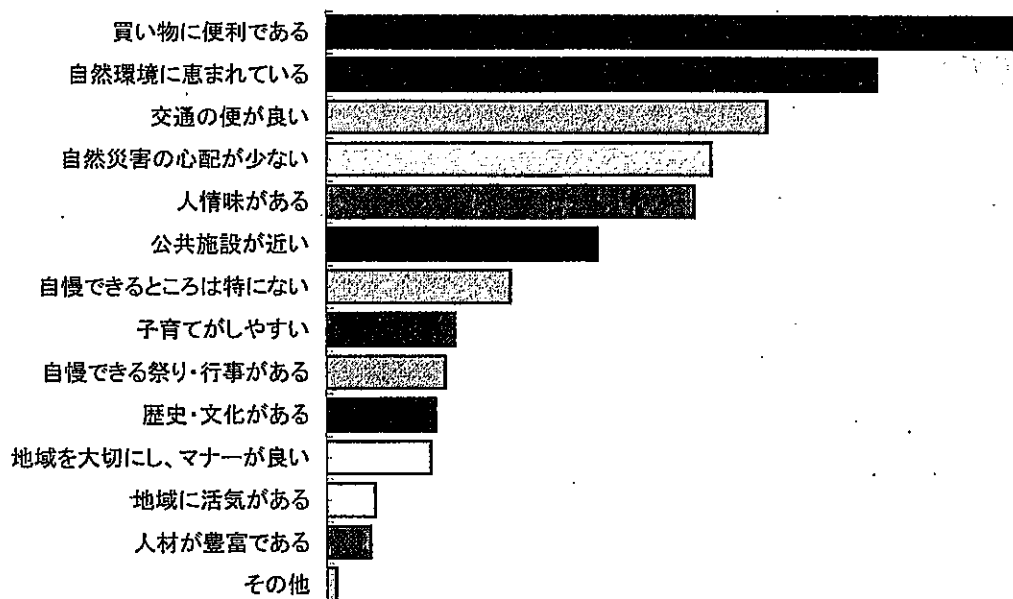
- 結構高齢者が多いので定期的な訪問サービスなどあればいいと思います。
 - テレビなどで見る黄色の旗を立てて、今日も元気という合図、旗が出ていない時は何かあったとみて話し相手がてら誰か見に行くなどしてみてもいい。子育て…子どもたちの登下校に合わせて今は親がしているが、仕事を持っている親は大変です。老人会など健康のため散歩がてらに見てもらえたらいいと思う。
 - 子ども、高齢者が集まったり、遊べる場所があればいいと思う。その場所が親も安心していられる場所だと。
 - 高齢者になった時手足不自由の時に台風等事前予防のための準備をする時に手伝ってくれる人があると助かります。あいさつ…一人一人の助け合いがとても必要。声かけなど買い物等できない時に食事のお世話をしてくれる人があると助かります。
 - 高齢者への声かけや道で出会えた人には必ず挨拶をするなど公園の遊具の充実、健康、体力づくりのため各世帯になわとびを配布(予算があれば)
 - 地区公民館の活動と福祉活動員さんの充実が大切です。
 - 一人暮らしの高齢者の対策や福祉問題等、どこへ言うべきか一人で案じている。誰に相談もできないので。
 - 高齢者の把握、必要な支援をスムーズに行えるような調査、活動をする人員の確保、対策室の設置。
- ・ 子育て、青少年育成
- リーダー育成(県及び環境省へ子どもエコクラブ結成)
 - 全国的に言える事ですが、子どもたちが心身両面で育っていないように感じます。それ以前に大人の人たちも公共性、社会性といったものが育っていないと感じます。人が育たなければ何も始まらないと思います。
 - 子どもさんたちのあいさつ運動を進めてほしい。まずはあいさつから。

5. 大坪地区で自慢できるものは何ですか？（複数回答可）

	項目	人数	%
1位	買い物に便利である	284人	20.0%
2位	自然環境に恵まれている	227人	16.0%
3位	交通の便が良い	182人	12.8%
4位	自然災害の心配が少ない	159人	11.2%
5位	人情味がある	151人	10.6%
6位	公共施設が近い	112人	7.9%
7位	自慢できるところは特にない	76人	5.3%
8位	子育てがしやすい	53人	3.7%
9位	自慢できる祭り・行事がある	49人	3.4%
10位	歴史・文化がある	45人	3.2%
11位	地域を大切にし、マナーが良い	43人	3.0%
12位	地域に活気がある	20人	1.4%
13位	人材が豊富である	18人	1.3%
	その他	4人	0.3%

【その他の意見】

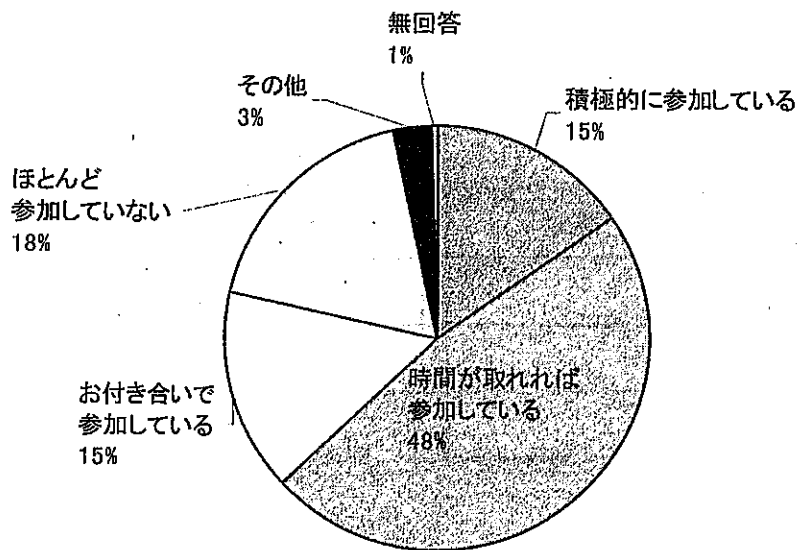
- ・文化財指定の前田家住宅の存在
- ・栄町区長様には感謝しています。ご苦労様です。



6. 町・区の行事・祭りについてお尋ねします。

*該当する番号を1つ選らんでください。

項目	人数	%
積極的に参加している	115 人	15 %
時間が取れば参加している	360 人	48 %
お付き合いで参加している	117 人	16 %
ほとんど参加していない	139 人	18 %
その他	22 人	3 %
無回答	4 人	1 %

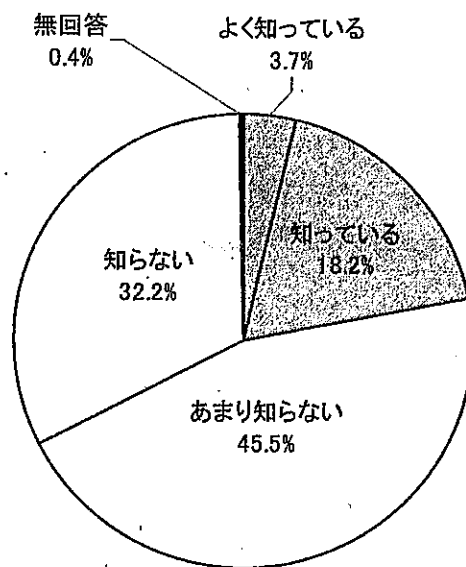


(参加しない理由)

- 仕事のため
- 高齢者のため
- 健康上の問題のため
- 面白そうなイベントが少ない。
- 人と接するのが少し苦手です。
- 今のところすべての住民が納得する。一致団結した愛情のあるすばらしい祭りと思えないから。心の傷は深く、楽しめないから。
- 子どもが小学生になると子ども会行事など参加する機会が増えると思う。
- 他地区より夫婦2人で転入したので、組内の方以外付き合いもなく、区、町の行事等になじみがない。
- 行事等は生活の負担になるので
- 子どもも大きくなり、参加する機会が少なくなった。
- 人間関係
- 官制的行事は嫌い
- 夏祭りには目的と実際の内容に違いを感じ賛同できない部分があるため

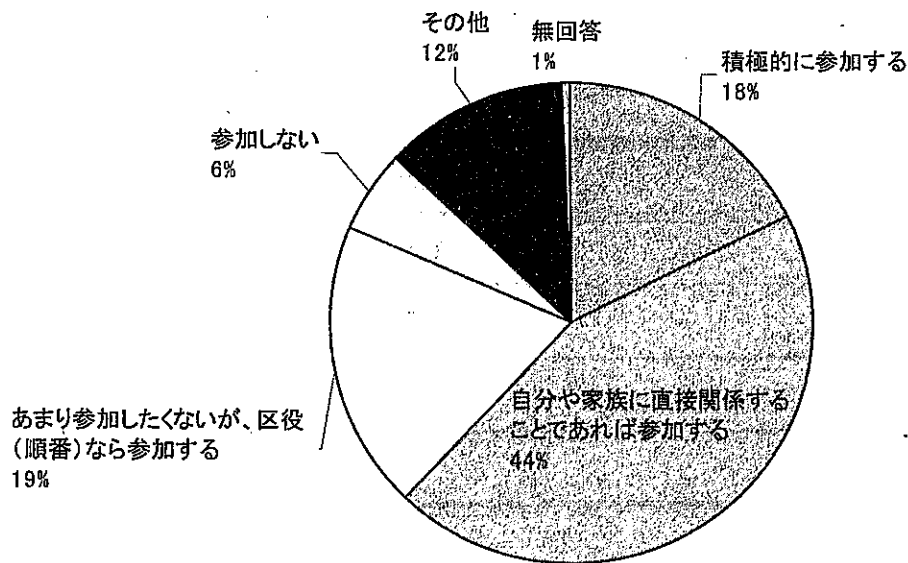
7. 大坪地区が「地域の元気推進事業」に取り組むことをご存知ですか？
*該当する番号を1つ選んでください。

項目	人数	%
よく知っている	28 人	3.7 %
知っている	138 人	18.1 %
あまり知らない	347 人	45.6 %
知らない	245 人	32.2 %
無回答	3 人	0.4 %



8. 地域のためにできること（活動）があれば参加しますか？
*該当する番号を1つ選んでください。

項目	人数	%
積極的に参加する	135 人	18 %
自分や家族に直接関係することであれば参加する	336 人	44 %
あまり参加したくないが、区役（順番）なら参加する	147 人	19 %
参加しない	43 人	6 %
その他	95 人	13 %
無回答	5 人	1 %



【その他の意見】

- 時間が取ればできるだけ参加する。
- 子どもの部活の送迎などで4～5年は無理です。
- 仕事と子育てが一段落するまで参加できそうにない。
- できる時できることはしていきたいが、自分の可能な限り。
- 健康が回復すれば参加する。
- 活動の内容により参加したい
- 退職した後、自分にできることがあれば参加する。
- 本当に地域のためになるなら参加するが今の活動自体の意味がないように思う。
- 町民総意のものには参加する。

9. 大坪地区について感じていること等があればお書きください。

・地域交流、活性化等

- 都川内ダムを生かして大坪地区で何か行事が行えたらいいのではと思っています
- ただでさえ大坪地区の行事は多すぎる。これ以上の組織はいらない。人、金銭的に負担が増すばかりでアパート住民の協力も得づらい。
- アパート建設により、地域行事への参加者が減少し、高齢者のみが荷っている状況。古老も主張のみで若者の意見をくみ取ることが少ない。〇〇協議会など、一部の委員の顔ぶれが同じ→公募でも新顔を入れる。
- 柳井町に住みついて45年になり今までずっと地域の行事に参加して来ました。これから先が年齢的にどうかと思いますが息子にも伝えていきたいと思っています。
- 地区行事等をCATVを通じ報道してほしい。もっと多く。
- 強制的な活動への参加はさせない。無理強いはしない。活動できない人も、今は出来なくても将来は協力するように思いやりの精神を全員参加の必要な活動については協力を呼びかける。
- 家、社会とあらゆる組織の中で「世代交代」の時、新旧をバランスよく保ち続けてほしいです。ね。大坪組ガンバレ。

- 大坪町の小中学生たちに（若く小さい頃から）町の良さとか伝統文化のことをもっと知ってもらおうイベント、例えば伝統に関しての見学や講演、郷土料理の実習、毎日の孫と一緒にイベント何かの大会をしたらいいかなと思います。
- 大坪だけでスポーツやその他催し物をどんどんしてほしい。
- 公民館の機能改革を考える。地区の連携をすすめて地区の交流を図る。
- 美田を残す必要はないが、将来に向けて誇れるものは力を入れて残したい。
- 大坪地区の特色ある行事がない。例えばつなぎ大会とか。
- バスツアーの企画をしてもらいたい。
- 若い世代は毎日の生活に忙しく、行事参加も難しいかと思うが少し時間的に余裕のできた人たちの力を集めたらいろいろな事ができそうに思います。協力を募るのに一工夫が必要かと思いが…。
- 都川内ダム上の広場整備で運動場にしてもらいたいです。
- 大坪地区には素晴らしい地域資源があります。国営開発による集中した農地と自然のテーマパーク的景観、都川内ダム、今岳神社を有する今岳の歴史とロマンなど、これらの地域資源を「地域の元気推進事業」生かされたら…。
- 個々の家庭事情や仕事の実情において地域活動にもなかなか参加できにくい世帯も多いかと思えます。余り負担なく自由参加できる交流の持てる活動を希望します。
- 大坪へ定住して8年。歴史を感じる町で、広報誌を読めば色々な方が協力、活動されていることがわかります。小学生の子どもたちを通じて町とつながりを持っていけるような気がします。大人だけの世帯になった時はどうなるかなと思います。
- 周囲が認め合い、認めてもらえば暮らしやすいと思えるだろう。大坪も広いので地区によってはもう住みたくないと思っている人がいるところもあるかもしれないので、気持ちの上での助け合いが大切と思う。
- 若年層が増えて昔よりコミュニティの関係が薄くなったような気もするけど、大好きな街です。雰囲気的にも実質的にも明るい街になることを願います。
- 地区に愛着を持っていない
- 世代交代の中、大坪魂が薄れているのが残念
- 自然環境には恵まれているが、人間関係が難しく嫌だ。人のうわさなどうるさい。
- 地域名について…旧地区名で表記してほしい。立花町では、大坪町でも立花町となっている。何番地ではわかりにくい。大坪町内でも地区名で表すことになればよい。
- 地区の呼び名で栄町は脇田町、大坪町があり、混同しやすい。栄町に統一できないか。

・交通対策

- 国道498号線の改修工事に関連して歩道の拡充も進んでいるが進みが遅い。高齢者や小中学生の登下校道路として非常に重要な歩道である。現状は歩道も狭く、その上道の通行車両は増加しており、危険度は高くなってきているので事業促進のため今後大坪地域の元気推進事業に組み入れて事業の促進を図ってもらいたい。
- 国道498号の改修工事八坂神社前より宮地商事までの伊万里川と国道を南側にずらし古賀より祇園町までを真直線にしてほしい。
- 六仙寺は道が狭くて、先日も救急車を呼んだのに家族の者がその場所まで行って家を案内した。もう少し道を広くするなりしてほしい。救急の時間がすごく困ります。何のための救急車なのかわからなかった。
- 岩栗橋のたもと、上伊万里方面行きの車があり、柳井町10組の人の車が川沿いを走っていると、そこで柳井町の方面から入って来る車が待たずに入って来ますので一時停車の立て札を立ててほしい。道幅が狭いので。
- 道路の整備が遅れている。いまりんバスのコースを広げてほしいです。買い物に不便である。

- あさひが丘の出入り口に信号がほしい。交通量が多いし、子どもたちの通学道となっているので信号機がほしい。

・福祉

- 福祉問題、団地内の区費、人間関係と差別に不満を感じています。（草取り不参加の場合区費ましてある）これからも取り組みしてほしいです。情報を伝達してほしい。
- 老後高齢者たちの集う楽しい催しがもっとあればよいと思う。
- 栄町では老人会の活動、一人暮らしの老人のためなど良く考えて役員の方でよくお世話してもらっている。
- 一人世帯のため、連絡方法や連絡事項のこと等早急の方法等お知らせください

・環境

- 鶏・牛舎の臭いが強烈で具合が悪くなる。洗濯物が干せない。

・防犯、防災

- 盗難自転車等が多い。
- 田畑耕作地が活用されずに荒れている。山林の手入れがなされず地すべりが多く見られる。農業の後継者が少なく、今後の農地が心配である。

・子育て・青少年育成

- 小学生・中学生に会うと必ずあいさつをされて気持ちが良い。道ですれ違う人にもこんにちは声を出すことが又気持ちが良い。これからも続けたいものです。
- 我が家の子どもたちは、土曜日に「赤門っ子集まれ」の“手作り教室”や“グランドゴルフ”に参加しているのですが、年々人数が減っているように感じます。ボランティアの方々はとても親切にしてくれますし、3月にある歴史探検などは楽しいのでたくさんの子どもが参加してくれるといいなと思います。
- 公園が少ない。森永公園は立派でも交通量が激しいところにあるため、利用しにくい。例えば大坪公民館が広いので、花を植えて憩いの場所に。遊具も充実させて子どもが遊べるようにしては。大坪小学校の下を流れる河川敷が整備されていたのをこの頃気が付きました。とても良いと思う。

《性別》

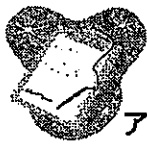
男：355人（47%） 女：406人（53%）

《年代》

30歳未満：17人（2%） 30代：54人（7%） 40代：124人（16%）
50代：182人（24%） 60代：168人（22%） 70歳以上：212人（28%）

《行政区》

上古賀：38/85世帯（45%）	下古賀：34/74世帯（46%）
みどりが丘：35/58世帯（60%）	六仙寺：7/137世帯（5%）
祇園町：25/115世帯（22%）	柳井町：52/150世帯（35%）
白野：35/247世帯（14%）	あさひが丘：102/340世帯（30%）
永山：21/43世帯（49%）	屋敷野：2/40世帯（5%）
東円蔵寺：121/250世帯（48%）	西円蔵寺：92/349世帯（26%）
栄町：192/402世帯（48%）	つつじヶ丘：7人/288世帯（2%）

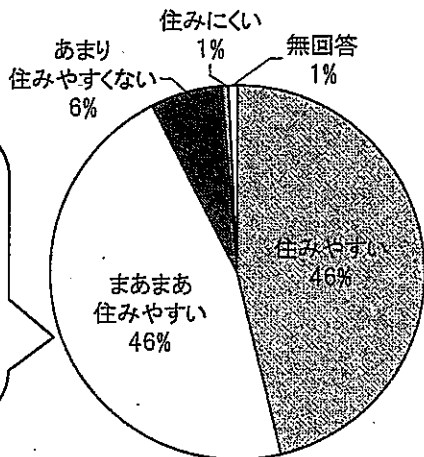


大坪地区「地域の元気づくり」アンケート集計結果

アンケートにつきましては、763世帯からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。このアンケート結果をもとに、「大坪地区まちづくり計画書」の策定を行い、明るく・活気ある・住みやすいまちづくりを進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

大坪地区まちづくり運営協議会設立準備委員会

☆大坪地区は住みやすいですか？

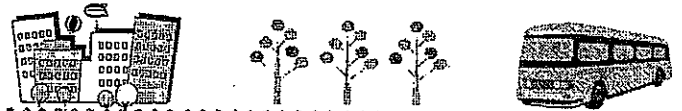


『住みやすい』、『まあまあ住みやすい』を合わせて92%の人が大坪地区は住みやすいと回答されています。

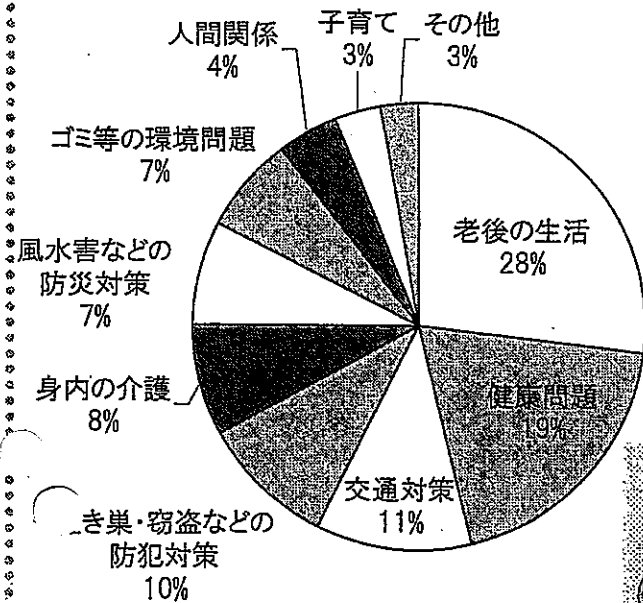
☆大坪地区で自慢できるものは何ですか？

- 1位 買い物に便利である ……20.0%
- 2位 自然環境に恵まれている ……15.9%
- 3位 交通の便が良い ……12.8%
- 4位 自然災害の心配が少ない ……11.2%
- 5位 人情味がある ……10.7%
- その他 ……29.4%

その他…(公共施設が近い、自慢できるものは特にない、子育てがしやすい、自慢できる祭り・行事がある、歴史・文化があるなど)

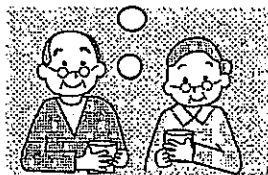
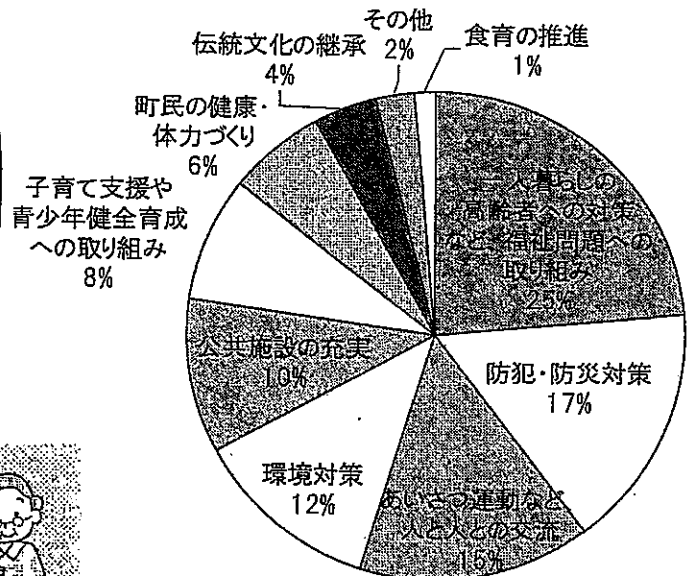


☆現在困っていること、将来心配なことがありますか？

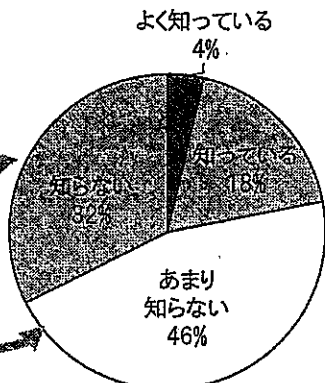


高齢者の生活に対する不安があり、一番多くありました。

☆大坪地区がもっと住みやすくなるためには何が必要だと思いますか？

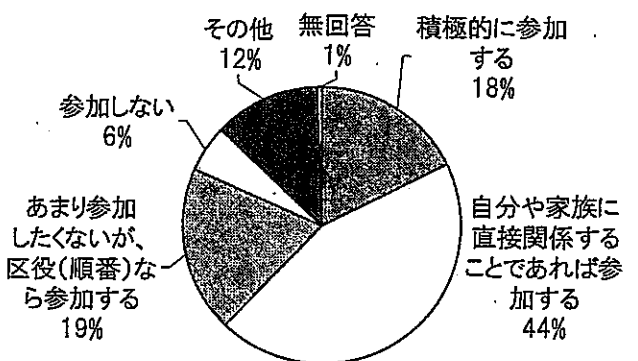


☆大坪地区が「地域の元気推進事業」に取り組むことをご存知ですか？



このアンケートで知っていただけのでは…と思います。

☆地域のためにできること(活動)があれば参加しますか？



3：大坪町の将来構想

3-1：まちづくり基本理念

私たちは、涓水の流れと緑豊かな自然に育まれ、歴史と文化に恵まれた、大坪地区住民であることに誇りを持ち、みんなで力を合わせ、安全で明るく活気ある、住んでよかった、「夢」がもてる町づくりを始めます。

3-2：基本テーマ

- ① 恵まれた自然を守り、私達が永住する「住んでよかった」まちづくり
- ② すべての地域住民の「絆」「おもいやり」を大切にするまちづくり
- ③ 子ども、高齢者、障害者、全ての住民が安全で安心して暮らせるまちづくり
- ④ スポーツを楽しみ、住民の健康を守るまちづくり
- ⑤ 伝統を大切にし、文化を育むまちづくり
- ⑥ 充実した、支援事業を行うまちづくり

3-3：大坪地区まちづくり基本計画（自助・共助・公助）

子どもから、高齢者にいたるまで、安全、安心、笑顔で幸せに暮らせるまち大坪地区にするために、私達自身が、自発的、積極的な行動を起こし、問題を提起し、連帯と協同によって、解決し、人と人々が支え合い、自分達の“まち”は自分達で、元気なまちづくりの輪を広げるため、大坪地区元気推進事業は5つの事業部会で運営致します。

- ① 地域活性化部会
- ② 安全・安心部会
- ③ 健康・福祉部会
- ④ 青少年育成部会
- ⑤ 伝統・文化活動部会

3-4：各部会における基本計画

3-4-1 地域活性化部会（明るく、仲良く、元気よく）

大坪地区活性化事業は、地域の資源、特色を活かし、住民が自ら考え、行政に全て頼ることなく、創意と工夫により、伝統と文化をまもり、住民の「絆」「ふれあい」を大切にし、明るく、元気で暮らしやすい、次世代の礎なる、新しい大坪地区の構築を行うため区長会、自著公民館長会を中心に各種団体の協力を得て事業を行います。

【 課題の柱 】

① 地域の交流

- ・ 公民館まつり、観月会、新春交流会の充実
- ・ グランド・ゴルフ、ソフトボール、バレー、ラージボール卓球、アジャタ、ニュースポーツの普及等、スポーツによる地域交流
- ・ 公民館を中心とした、各種講座の充実
- ・ 筏大会、ソフトバレー、キックベースボール等、親子との交流
- ・ 長寿祝賀会等、高齢者の交流
- ・ 婦人部会の発足

② 地域特性を活かした事業

- ・ 休耕田を利用したまちづくり
- ・ 町花「菜の花」等、を利用したバイオ事業を中心に環境に優しいまちづくり
- ・ 伊万里川、白野川、新田川を利用したまちづくり

3-4-2 青少年育成部会（子どもは宝、大坪の未来を担う子育て支援）

少子化時代の現在、明日の大坪地区を担う青少年が、豊かな社会性と優れた創造性を持ち、時代の進歩に対応できる人間として健全に成長させていく対策を考慮し、体験活動、啓発活動などを中心に事業を進めてまいります。

又、健全な子どもの成長に関して欠かせないのが「家庭教育」であると位置づけ、学校教育では教わることの出来ない、さまざまな問題を具体化し、地域の方々と協力し「親育ち」教育を行う。

【 課題の柱 】

① 幼児対策

- ・ 子育て支援
- ・ 親育ち教育
- ・ 大坪保育園との連携

② 学童(生)対策

- ・ 食生活等基本的な生活習慣の形成
- ・ 規範意識の育成
- ・ 集団遊びの機会の確保
- ・ 子どもの情操教育
- ・ 家読の推進
- ・ 大坪小学校・伊万里中学校との連携

③ 子どもの交流

- ・ 球技大会
- ・ ジュニア・リーダーの育成
- ・ 親子・祖父母との交流（三世代交流）

④ 子どもの体験教育

- ・ いかだ大会、蕎麦打ち体験（屋敷野のそば利用）
- ・ 休耕田利用の体験農業
- ・ 通学合宿

3-4-3 健康・福祉部会（共に、支えあい、助け合いの心で）

少子高齢化の時代を迎え、独居老人、老々看護等、高齢者をとりまく生活環境の変化に伴い「老後生活への不安」の声は高く、昔は当たり前であった「向こう三軒両隣」お互い様で支えあう隣近所などの地域社会の絆が無くなっている現状です。

また、地域社会には地域の支えを必要としている子育て家族、障害者などが大勢暮らしています、このような状況下、大坪地区では子どもからお年寄りまで「安全で安心し、明るく健康で暮らしていける」共に、支えあい、助け合いのある地域をつくりに取り組みます

【 課題の柱 】

① 独居老人・高齢者対策

- ・ 安心・安全ネットワークの構築
- ・ 子ども・親兄弟への緊急ネットワーク作成
- ・ ゴミだし・外出支援
- ・ 趣味クラブ（お花・お茶・謡曲・囲碁将棋・麻雀等）
- ・ ふれあい広場の構築

② 健康づくり対策

- ・ ふれあい給食
- ・ 料理教室
- ・ 健康教室（ヨガ・気功・リズムダンス等）
- ・ 軽スポーツ（グラウンド・ゴルフ等）
- ・ 子どもとの交流

③ 地域で支援

- ・ 区長・自治公民館長・民生委員・福祉活動員の連携
- ・ ボランティア活動
- ・ 地域の交通

3-4-4 安全・安心部会（安全で安心して明るく暮らせるまちづくり）

日本はかつて「世界一安全な国」と言われていました。しかし、近年の犯罪発生件数の推移を見ますと「安全な国、日本」という神話は崩れつつあると言えます。

振り込み詐欺、催眠商法、高齢者の交通事故、放火、サイトでのいじめ等、社会的な弱者への犯罪件数は著しく増加しています。

又、河川の氾濫、土砂崩れ等自然環境の破壊による災害、交通の増加による高齢者、子ども達の交通事故の増加も増え、安全で安心して明るく暮らせる町で無くなりつつあります、事故のない安全なまちづくりへの事業を行います。

【 課題の柱 】

① 防犯に関する取り組み

- ・ 防犯灯の設置
- ・ 子ども見守る隊の充実
- ・ 子ども110番の家の拡充
- ・ 子どもの遊び場確保
- ・ 防犯グッズ作成
- ・ 安全マップの作成

② 交通事故対策

- ・ 子どもの自転車交通マナー学校への要請（ヘルメット・二人乗り）
- ・ ガードレール・信号機等、交通安全施設整備の要望
- ・ 高齢者への交通事故防止キャンペーン（老人クラブ）

③ 地域の安全対策

- ・ 避難訓練（情報伝達訓練）
- ・ 大坪地区独自のハザード・マップ作成
- ・ 放置自転車の撤去
- ・ 危険個所の点検（情報提供）
- ・ 環境美化

3-4-5 伝承・文化部会（地域の宝は地域で守り・活かそう）

大坪地区は古くから伊万里市の行政・文化・交通の要とし発展し、国・県・市指定の文化遺産が数多く残されている。

この遺産は地域の宝であり、後世に伝承すべきものであるが、残念ながらこの貴重な遺産を利用（活用・保存）出来ていないのが現状で、利活用のするためには、先ず大坪地域に住む住民が率先して取り組み、「あるものを活かす」「いいものを磨く」「いいものを保存する」という考えから発して、私達が住む地域の良さを再確認し伝承を行う事業とします。

【 課題の柱 】

- ① 大坪伝承百選の作成
 - ・ 前田家住宅等建築物
 - ・ 神社・仏閣
 - ・ 円蔵寺公園・森永公園
 - ・ 遺跡等
- ② 利活用事業
 - ・ 前田家住宅（茶会、お月見コンサート、等）
- ③ 教養講座
 - ・ 大坪塾、赤門大学
 - ・ 子ども達への地域の遺産見学会
- ④ 地区伝承文化事業への活動補助
 - ・ 古賀 つうわたし
 - ・ 白野 白んぼさん
 - ・ 大御田祭
 - ・ 西円 鬼子母神まつり
- ⑤ 大坪地区伝承の復活
 - ・ 古賀、白野浮立

大坪地区まちづくり基本事業計画 (目標達成の為に具体的取り組み)

○ 地区部会の取り組み ● 行政への要請

部会	活動時期	短期	中期	長期	課題の柱	具体的事業
地域活性化事業	継続事業	●	→	→	大坪地区ふれあい交流事業 スポーツ交流 親子との交流 高齢者との交流	○ 観月会、新春交流会 ○ 町民運動会、G・G大会、アジャタ、ソフト、バレエ ○ 親子筏作り、キックベースボール、ソフトボール ○ 長寿祝賀会
		●	→	→	大坪地区ふれあい交流事業	○ 公民館まつり ○ 公民館を主体とした講座の開設 ○ 長寿祝賀会 (老人クラブ会員以外の方の参加促進)
	新規事業	●	→	→	地域の特性を活かした新規事業。	○ 休耕田利用した新規事業 ○ 伊万里、白野、新田川の環境整備、利用 ○ 環境整備&バイオ事業
		●	→	→	活性化事業の為に新しい組織の立ち上げ	○ 婦人部、青年部の立ち上げ ○ ボランティアの立ち上げ
青少年育成部会	継続事業	●	→	→	幼児対策 大坪保育園との連携 児童対策 基本的な生活習慣の形成 家読の推進 小・中学校との連携 球技大会 ジュニアリーダー育成 体験教育 模型飛行機作成	○ 子育てアドバイス ○ 早寝、早起き、朝ごはん運動、TV、ゲーム規制 ○ 家での読書活動推進、図書館へ行くキャンペーン ○ 問題児への地域での指導、小中学校への支援 ○ キックベースボール、ソフトボールへの援助 ○ ジュニアリーダー育成への支援 ○ 屋敷野の蕎麦粉を使用し、蕎麦打ち体験、調理 ○ 模型飛行機の作成と、飛行時間協議会
		●	→	→	幼児・学童 親育ち 規範意識の育成 集団遊び機会の確保	○ 家庭教育の在り方、子育てについて講演会 ○ あたりまえの事を、当たり前前に ○ 外で遊べる公園の整備

大坪地区まちづくり基本事業計画 (目標達成の為に具体的取り組み)

○ 地区部会の取り組み ● 行政への要請

部会	活動時期	短期	中期	長期	課題の柱	具体的事業
育成 少年部会	新規事業	●	—	→	体験教育 休耕田利用の農業体験 通学合宿 子どもの交流 三世交代流事業	○ 休耕田を利用した、農作物の植え付け、 ○ 各地区公民館に生活体験 ○ G/G等親子三代での交流事業
		●	—	→	健康づくり対策 ふれあい給食 健康教室 軽スポーツの普及	○ 民生委員が行っている”ふれあい給食”への支援 ○ 気功、ヨガ、リズムダンス、等健康教室の充実 ○ 高齢者に優しいニュースポーツの普及
		●	—	→	ふれあい事業 地区サロン事業の充実 子どもとの交流 料理教室	○ 13地区(現在3地区)へのサロン開設要請 ○ おばあちゃんの知恵袋(子供達との交流) ○ 高齢者、男性、子供たちへの健康促進料理教室の開催
健康・福祉部会	新規事業	●	—	→	高齢者対策 安全・安心ネットワーク 趣味クラブ設立 ふれあい広場の設置 福祉委員の連携強化 地域の交通	○ 高齢者への声かけ運動、子供達への緊急連絡網の整備 ○ 囲碁将棋、お茶、お花、等趣味教室の開設 ○ おしゃべり広場の開設 ○ 区長、自治公民館長、民生委員、福祉活動員との連携強化 ○ 高齢者、子供達への足の確保
		●	—	→	身の回り支援事業	○ ゴミだし、買い物、等高齢者の身の回り支援
		●	—	→	防犯対策 防犯灯の設置 防犯グッズ補助 安全マップ作成 交通安全施設整備要望	● 行政への要求 ○ 防犯タスキ、ジャンパー、等防犯グッズ購入金補助 ○ 大坪危険マップ作成 ● 行政への要求
安全・安心部会	継続事業	●	—	→	高齢者の交通事故防止 放置自転車の撤去 危険箇所の点検	○ 老人クラブ等での事故防止教育、免許返上運動 ● 行政への要求 ● 行政への要求

大坪地区まちづくり基本事業計画 (目標達成の為に具体的取り組み)

○ 地区部会の取り組み ● 行政への要請

部会	活動時期	短期	中期	長期	課題の柱	具体的事業
安全・安心部会	充実発展	●	——	→	防犯対策 子供110番の家充実 子供守り隊充実 交通事故黄色いリボン	○ 子供110番の家表示と、拡充 ○ 子供守り隊の充実 ○ 交通事故防止、黄色いリボンキャンペーン
		●	——	→	地域の安全 環境美化 通学路の安全点検 訓練強化	○ 犯罪の起こりにくい環境整備 ○ 通学路の安全確保 ○ 火災、洪水等起きた時の避難訓練
		●	——	→	教養講座 大坪塾、赤門大学 焼物づくり(親子) 大坪史跡探訪(赤門っ子)	○ 大坪の歴史等、出前講座利用の教養講座 ○ 唐津焼等焼き物づくり ○ 大坪地区の史跡探訪(文化財等)
	新規事業	●	——	→	利活用事業 前田家住宅 大坪町史の活用	○ お茶会、月見茶会等前田家住宅の利活用 ○ 大坪町史の配布と、説明会
		●	——	→	古賀、白野浮立の復活 伝統文化事業への補助	○ 浮立の復活 ○ つうわたし、等伝統行事への補助
伝承・文化部会						

大坪地区「まちづくり」プロジェクト委員名簿

大坪地区「まちづくり」運営協議会

NO	役職	所属団体	行政区	氏名	住 所
1	会 長	区長会	あさひが丘	酒谷正憲	
2	副会長	自治公民館長会	六仙寺	古川正道	
3		区 長 会	永 山	前田正明	
4		防犯協会	柳井町	松尾 誠	
5		民生委員	白 野	光田美津子	
6		食生活改善	東円蔵寺	吉岡 茂子	
7		福祉活動員	永 山	片岡 直嗣	
8		体育協会	六仙寺	草野 一夫	
9		育成会議	六仙寺	田中 淳之介	
10		子ども会	西円蔵寺	大久保 光晴	
11		老人クラブ	栄 町	草津 英明	
12	副会長	市 職 員	白 野	小林 勝紀	
13		市 職 員	白 野	力武 健一	
14		市 職 員	つつじヶ丘	中尾 克也	
15		市 職 員	東円蔵寺	城島ゆかり	
16		市 職 員	白 野	松尾 利矢	
17		市 職 員	つつじヶ丘	末次健太郎	
18		市 職 員	祇園町	松尾 潤	
19		大坪公民館		松藤 郁二	
20		大坪公民館		谷川 智浩	
21		大坪公民館		渡邊 照予	

大坪地区元気推進事業
まちづくり運営協議会委員名簿

NO	所属団体		行政区	氏名	備 考	
1	区長会		上古賀	丸田敏弘		
2			下古賀	池田 功		
3				池田 一郎		
4				みどりが丘	松尾昭義	
5				六仙寺	中村重徳	
6				祇園町	松尾裕司	
7				柳井町	山口益弘	
8					原 英次郎	
9				白 野	光田新	
10			会 長	あさひが丘	酒谷正憲	
11			副会長	永 山	前田正明	
12				屋敷野	松尾義之	
13				東円蔵寺	小嶋正雄	
14				西円蔵寺	池田哲典	
15				栄 町	井手薫	
16					光石英樹	
17				つつじヶ丘	稲垣史郎	
18					古賀富男	
19	自治公民館長		古賀	中島 勝正		
20			みどりが丘	坂口洋太郎		
21			副会長	六仙寺	古川正道	
22				祇園町	樋渡 善久	
23				柳井町	北野 真吾	
24				白 野	吉原 政弘	
25				あさひが丘	内海 滋	
26				永 山	松尾 常雄	
27				屋敷野	吉原 清則	
28				東円蔵寺	藤巻 善信	
29			会 長	西円蔵寺	市川 哲也	
30				栄 町	梶原 光弘	
31	防犯協会	会 長	柳井町	松尾 誠		
32	交 対 協	会 長	下古賀	山下 剛司		
33	体育協会	会 長	六仙寺	草野一夫		
34		副会長	屋敷野	川口 幸介		
35		理 事	永 山	松尾 邦男		
36	育成会議	会 長	東円蔵寺	松尾 光明		
37		副会長	六仙寺	田中 淳之介		

大坪地区元気推進事業 まちづくり運営協議会委員名簿

NO	所属団体		行政区	氏名	備 考
38	民生委員	会 長	白 野	光田美津子	
39	福祉活動員		永 山	片岡直嗣	
40	食生活改善協議会	会 長	東円蔵寺	吉岡茂子	
41	子ども会	会 長	西円蔵寺	大久保光晴	
42	老人クラブ	会 長	栄 町	草津英明	
43	大坪塾	会 長	白 野	前田信義	
44	大坪分団	副分団長	下古賀	池田義幸	
45	顧 問	大坪保育園長		峰松保江	
46		大坪小学校長		栗山 昇	
47		伊万里中学校長		土井 寛人	
48		市会議員		占野秀男	
49	応援職員	チーフ	白 野	小林勝紀	
50		サブリーダー	白 野	力武健一	
51			つつじヶ丘	中尾克也	
52			東円蔵寺	城島ゆかり	
53			白 野	松尾利矢	
54			つつじヶ丘	末次健太郎	
55			祇園町	松尾 潤	
56	伊万里商業		上古賀	中島 美咲	
57			柳井町	北野 里佳	
58			西 円	樋渡 梓	
59			東 円	元山 亜莉沙	
60	一般公募			池田 博士	
61				石本 洋子	
62				岩永憲一良	

大坪地区「まちづくり」事業部会委員

事業部会名	区長会	各種団体		支援市職員	一般公募	伊商高	備考
地域活性化部会	酒谷 正憲	会 市川 哲也	草野 一夫	小林 勝紀	池田 博士	中島 美咲	占野 秀男
	前田 正明	副 古川 正道	松尾 邦男	力武 健一	大川内正弘		
	山口 益弘	副 北野 真吾	田中淳之介	中尾 克也			
	古賀 富男	副 草野 一夫					
健康福祉部会	会 中村 重徳	光田美津子	川口 幸助	松尾 利矢		北野 里佳	
	副 井手 薫	吉岡 茂子	藤巻 善信	松尾 潤			
	池田 功	草津 英明	梅崎 敦子	城島ゆかり			
	稲垣 史郎	松尾 正敏					
安全安心部会	会 丸田 敏弘	会 松尾 誠	坂口洋太郎	力武 健一			
	松尾 昭義	副 山下 剛司	梶原 光弘	松尾 利矢			
	小嶋 正雄	松尾 常雄	中島 勝正				
	池田 一郎						
青少年育成部会	松尾 義之	副 松尾 光明	吉原 政弘	中尾 克也	岩永憲一良	樋渡 梓	峰松 保江
	池田 哲典	大久保光晴		末次健太郎	石本 洋子		栗山 昇
	会 光石 英樹	内海 滋		城島ゆかり			土井 寛人
							中村 重徳
文化活動部会	松尾 裕司	会 前田 信義	樋渡 善久	小林 勝紀		元山 亜莉沙	酒谷 正憲
	原 英次郎		吉原 清則	末次健太郎			松尾 誠
	副 光田 新			松尾 潤			徳永 三郎
							梶山 胡蝶

1. 大坪地区町民憲章

私達は、渭水の流れと緑豊かな自然に生まれ、歴史と文化に恵まれた、大坪地区町民であることに誇りを持ち、みんなで力を合わせ、安全で明るく、豊かで、活気ある住みよい新しいまちづくりを願ってこの町民憲章を定めます。

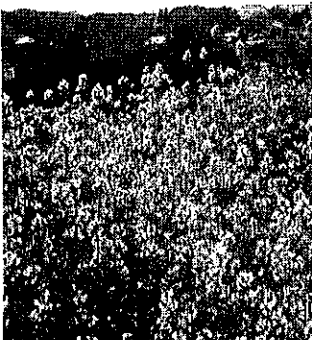
1. 私達は、恵まれた自然を守り、住みやすい町づくりを行います。
2. 私達は、敬老の精神を培い、子どもの夢を育てる町づくりを行います。
3. 私達は、人権を尊重し、思いやりのある町づくりを行います。
4. 私達は、安全で、安心して暮らせる町づくりを行います。
5. 私達は、伝統を大切にし、文化を育む町づくりを行います。

《シンボルマーク》



- 周囲の円は（葉）、町の木「柎」をあらわしています。
- 葉は片方7：7で大坪地区14地区を表しています。
- 葉の緑は、渭水の流れと緑豊かな自然をイメージしています。
- 葉の輪は、大坪地区の「オー」と地区の和「協働」「平和」を表しています。
- 葉（根元）のクロス部分は、14地区の『絆』を表しています。
- 重なり合う葉は、みんなで手を取合って町を創るイメージです。
- 葉の突出部分は、大坪地区の「翔」未来への飛躍を表しています。
- 大坪地区の未来に光るものを黄色の玉で表しています。
- 配色の緑と、黄色は町の花「菜の花」をイメージしています。
- OTSUBO 伝統のある歴史を思わせる、ゴールドで格調の高さをイメージしています。
- SINCE 1889 明治22年町村制施行の際、今岳、町裏、新田の3ヶ町村が合併し「大坪」の名称誕生。

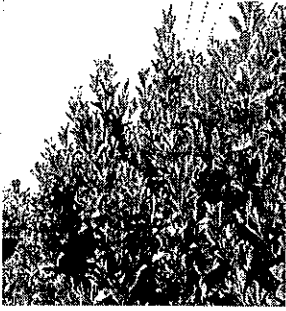
《町の花 【菜の花】》



春の訪れと共に、大坪地区の里に黄色いじゅうたんを広げる菜の花。
菜の花は、油の原料として栽培されたが、川原や荒れた土地にも繁茂する元来は丈夫な植物で「大坪地区の根強さ」を表します。
又、廃食用油は、バイオディーゼル燃料になる。自然環境にやさしい「花」、
「エコライフ」な大坪地区を目指します。

花言葉 「豊かさ」大坪地区の融和と協調、心の豊かな町
「快活」大坪地区は明るく元気で活気のある町

《町の木 【まさき】》



明治16年開校の大坪小学校、大坪小学校の校門として、建立された赤門。赤門健児の象徴とし、子供と母校を結ぶ絆となり心の支えとなっている。その赤門に通じる両脇に枉道（まさきみち）があり、地域の人達と故郷を離れた方々の思い出の木でもある。

大坪地区の概要

明治22年（1889年） 町村制施行により、大坪村となる
昭和18年（1943年） 伊万里町大坪村、大川内町が合併して伊万里町となる
昭和29年（1954年） 2町7村合併により、伊万里市となる
昭和54年（1979年） 大坪公民館、現在地に新築

・人口 7,631人（男 3,591人 女4,040人）
・世帯数 2,912世帯 (H 21.7.31 現在)
・地区数 14地区

【上古賀】・【下古賀】・【みどりが丘】・【六仙寺】・【祇園町】・【柳井町】

【白野】・【あさひが丘】・【永山】・【屋敷野】・【東円蔵寺】・【西円蔵寺】

【栄町】・【つつじヶ丘】

大坪地区まちづくり運営協議会規約

(目的)

第1条 本会は「大坪地区町民憲章」の精神を持って、住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって、町民が誇りと郷土愛を抱く住み良い「まち」を形成していくことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、大坪地区まちづくり運営協議会（以下「協議会」という）と称する。

(事務局の位置)

第3条 協議会の事務局を大坪公民館に置く。

(事業)

第4条 協議会は大坪地区まちづくり計画を策定するとともに第1条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域住民相互の情報交換並びに交流・親睦に関する活動
- (2) 活性化に関する活動
- (3) 健康・福祉に関する活動
- (4) 生活環境の保全に関する活動
- (5) 地域の防災・防火及び防犯に関する活動
- (6) 自治会活動との連携に関する活動
- (7) その他目的達成のために必要な活動

(組織)

第5条 協議会の会員は次に掲げるとおりとする。

- (1) 大坪地区に居住する住民
- (2) 大坪地区で活動する自治会、団体
- (3) 大坪地区に所在する事業所
- (4) その他、会長が必要と認める者

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

- | | |
|------|-----|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 幹事 | 若干名 |
| 事務局長 | 1名 |
| 会計 | 1名 |
| 監事 | 2名 |

各事業者代表 若干名

公募住民・区長会OB 若干名

顧問 若干名

- 2) 会長、副会長及び監事は会員で構成する総会において会員の互選により選出する。
- 3) 幹事は、各区長を以って充てる。
- 4) 会計、事務局長は、総会の同意を得て、会長が任命する。
- 5) 部会の正副会長は各部会において選出する。
- 6) 公募住民は、公募者の中から会長が協議会の承認を得て選出する。
- 7) 顧問は、会長が協議会の承認を得て選出する。

(協議会役員の職務)

第7条 協議会の役員の職務は次の通りとする。

- 1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3) 会計は、協議会の会計事務を処理する。
- 4) 監事は、協議会の会計及び事業の執行状況を監査し、総会に監査報告を行う。
- 5) 事務局長は、協議会事務を総括する。
- 6) 顧問は、会長の要請により必要に応じて会議に出席し、意見を述べる事が出来る。

(協議会役員の任期)

第8条 協議会役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3) 会員は、任期満了後であっても、後任が選出されるまでの間は、その職務を行う。

(会 議)

第9条 協議会の会議は、総会、協議会役員及び事業部会員とする。

- 2) 協議会の会議等は、すべて公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算及び決算についても広く地域住民に周知するものとする。
- 3) 会議は出席者の過半数の賛成を以って決定する。

(総 会)

第10条 総会は役員、協議会委員及び事業部会委員をもって構成する。

- 2) 総会は、毎年1回、定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合、臨時総会を開催することが出来る。
- 3) 総会は会長が招集する。
- 4) 総会の議長は、その総会において、出席者の中から選出する。

- 5) 総会は次の事項を決定する。
 - (1) 地域まちづくり計画に関する事。
 - (2) 会長、副会長、監事の承認に関する事。
 - (3) 協議会の事業計画、予算、決算に関する事。
 - (4) その他、重要事項に関する事

(協議会役員会)

第11条 役員会は会長、副会長、各種団体から選出された者、各部会長及び公募住民により構成する。

- 2) 役員会は、総会に諮るべき事項及び協議会の運営に関する事項を審議決定する。
- 3) 役員会は、会長が招集する。
- 4) 会長は役員会の会長が議長となる。
- 5) 会長は、必要があると認めるときは、委員以外のものを出席させ、意見を求めることが出来る。
- 6) その他、緊急を要する事項のうち役員会を開催する事が困難な場合は、会長、副会長、幹事で審議し、決定する事が出来る。
ただし、決定事項を次回役員会に報告しなければならない。

(事業部会)

第12条 総会及び協議会委員会で決定された方針に基づき施策を実施するため、協議会に事業部会を置く。

- 2) 事業部会に次の部会を置く。
 - (1) 地域活性化部会
 - (2) 安全・安心・環境部会
 - (3) 青少年育成部会
 - (4) 健康・福祉部会
 - (5) 文化伝承部会
- 3) 事業部会員は、それぞれに活動している組織の会員で構成する。
- 4) 部会には、部会長及び副部会長を置く。
- 5) 部会長及び副部会長は、部会員の中から選出する。
- 6) 部会長は部会を代表し会務を総括する。
- 7) 副部会長は、部会長を補佐し、部会長が事故あるときは、その職務を代行する。
- 8) 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を出席させ、意見を求めることが出来る。

(会 計)

第13条 協議会の運営等に関する経費は、交付金、補助金、委託料及びその他の収入をもって充てる。

2) 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は会長が運営協議会委員会に図り、別に定める。

附 則

この規約は、平成 22年 4 月 1 日から施行する。